

# 漁海況情報

平成30年11月15日 第20号(通巻642号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎2861-3

TEL: 0837-26-0711 FAX: 0837-26-1042 Mail: a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク】<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

## 【ヨコワ(クロマグロ幼魚)の来遊量予報】

山口県日本海沖の今期(11月~翌年2月)のヨコワ来遊量は、昨年漁期を下回るものの、2011年以降では高水準でしょう。

### 【予報の根拠】

- ① 山口県日本海に來遊するヨコワは、その年の初夏に南西諸島海域で生まれた稚魚が日本海に入って成長した群と、その年の夏に日本海で生まれた稚魚が成長した群が混在していると考えられます。
- ② 2018年の南西諸島海域生まれの加入量は、太平洋南および九州西で操業した曳縄船の夏季(7~8月)の漁獲努力量あたりヨコワ漁獲尾数(CPUE)(下図)から、昨年よりも下回るが、2011年以降では高水準である可能性が高いとされています(国研)水産研究・教育機構 国際水産資源研究所「太平洋クロマグロ2018年南西諸島海域生まれ加入量モニタリング速報(第1報2018年10月)」)。
- ③ 島根県隠岐で養殖種苗用として秋季に曳縄により漁獲されるヨコワのCPUEは、日本海生まれ群の指標になると考えられ、2018年のCPUEは豊漁であった昨年並みでした(島根県水産技術センターからの情報)。

これらのことから、山口県日本海沖の今期のヨコワ来遊量は、昨年漁期を下回るものの、2011年以降では高水準であると考えられます。

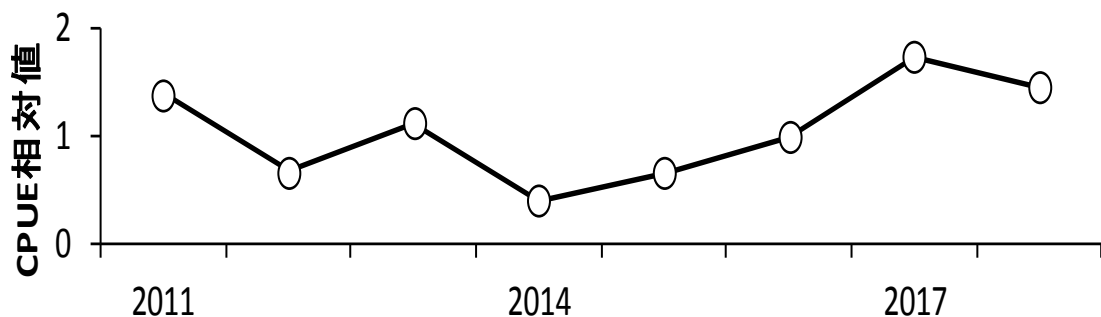


図 太平洋南および九州西で操業した曳縄船の夏季のCPUEの相対値